

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

鼻アレルギー診療ガイドライン：通年性鼻炎と花粉症 2024 年版(改訂第 10 版)

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会委員長 大久保公裕 日本医科大学大学院医学研究科頭頸部・感覚器科学分野教授)
金原出版株式会社 2024 年 3 月 31 日

Minds 掲載 無

Grading Scale of Strength of Evidence

高(A):真の効果が効果推定値に近いことに大きな確信がある。

中(B):効果推定値に対し中等度の確信がある。つまり、真の効果は効果推定値に近いと考えられるが、大きく異なる可能性も否めない。

低(C):効果推定値に対する確信性には限界がある。真の効果は効果推定値とは大きく異なるかもしれない。

非常に低(D):効果推定値に対し、ほとんど確信がもてない。真の効果は、効果推定値とは大きく異なるものと考えられる。

Grading Scale of Strength of Recommendation

1 (強い):「行うこと」または「行わないこと」を推奨する。

2 (弱い):「行うこと」または「行わないこと」を提案する。

■1 小青竜湯、葛根湯、苓甘姜味辛夏仁湯など

疾患:

アレルギー性鼻炎

引用など:

- 1) 馬場駿吉, 高坂知節, 稲村直樹, ほか. 小青竜湯の通年性鼻アレルギーに対する効果 二重盲検比較試験. *耳鼻咽喉科臨床* 1995; 88: 389-405.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

- 2) 日本東洋医学会学術教育委員会 (編). 入門漢方医学. pp.30-67, 南江堂, 東京, 2002.
- 3) 荻野敏. 漢方薬はどんな患者に有効か?. *治療* 2006; 88: 295-9.
- 4) 稲葉博司. アレルギー性鼻炎・花粉症. 市村恵一編集: 耳鼻咽喉科漢方薬処方ガイド. pp.64-77, 中山書店, 東京, 2015.

有効性に関する記載ないしその要約:

『第5章治療』の『3.薬物療法』に以下の記載がある。

『漢方薬では小青竜湯, 葛根湯, 苓甘姜味辛夏仁湯などが用いられているが, 証による病態把握, 漢方診断に始まり, 病期, 病因分類が行われ漢方薬が選択され, 経験則に基づいて行われる。小青竜湯のみがプラセボとの比較対照試験が行われ有効性が証明されている。速効性・持続性からみると, 麻黄中に含まれているエフェドリンが作用していると考えられるが, 作用機序については不明な点も多い。』

備考:

表 17 アレルギー性鼻炎治療薬として『⑥その他 非特異的変調療法薬、生物抽出製剤、漢方薬』の記載がある。

■2 小青竜湯

疾患:

アレルギー性鼻炎

CPG 中の Strength of Evidence:

中 (B): 効果推定値に対し中等度の確信がある。

CPG 中の Strength of Recommendation:

2 (弱い): 「行うこと」または「行わないこと」を提案する。

引用など:

馬場駿吉, 高坂知節, 稲村直樹, ほか. 小青竜湯の通年性鼻アレルギーに対する効果 二重盲検比較試験. *耳鼻咽喉科臨床* 1995; 88: 389-405.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ5 漢方薬はアレルギー性鼻炎に有効か。』の『エビデンスの要約』に以下の記載がある。
『全国 61 施設の耳鼻咽喉科を受診した通年性鼻アレルギー患者 220 名を対象にした小青竜湯の二重盲検ランダム化比較試験では, 全般改善度, くしゃみ発作, 鼻汁, 鼻閉スコアにおいて実薬群が有意に優れていた』

■3 小青竜湯、漢方薬(苓甘姜味辛夏仁湯, 越婢加朮湯, 大青竜湯, 桂麻各半湯, 五虎湯, 麻黄附子細辛湯)

疾患:

アレルギー性鼻炎

CPG 中の Strength of Evidence:

中(B):効果推定値に対し中等度の確信がある。

CPG 中の Strength of Recommendation:

2 (弱い):「行うこと」または「行わないこと」を提案する。

引用など:

森壽生. 春季アレルギー性鼻炎 (花粉症) に対する小青竜湯と大青竜湯 (桂枝湯合麻杏甘石湯) の効果－両剤の効果の比較検討－. *Therapeutic Research* 1998; 19: 3299-307.

[MOL](#), [MOL-Lib](#) [EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ5 漢方薬はアレルギー性鼻炎に有効か。』の『エビデンスの要約』に以下の記載がある。
『森らの花粉症患者に対する小青竜湯と他の漢方薬(苓甘姜味辛夏仁湯, 越婢加朮湯, 大青竜湯, 桂麻各半湯, 五虎湯, 麻黄附子細辛湯)の準ランダム化比較試験の結果がまとめられている。症状別には小青竜湯と大青竜湯に効果の差はないが全般改善度は大青竜湯が小青竜湯に比べ有意に高い改善度を示した』

<以上 2~3 の記載として>

副作用に関する記載ないしその要約:

『麻黄は一般に中間証から実証の場合に用いられ, 虚証の場合は麻黄の副作用である動悸や胃腸症状が現れやすいため, 苓甘姜味辛夏仁湯という麻黄を含まない漢方薬が処方される。』

■4 小青竜湯

疾患:

通年性鼻アレルギー

CPG 中の Strength of Evidence:

Ib: ランダム割付を伴わない過去のコントロールを伴うコホート研究

CPG 中の Strength of Recommendation:

A: 行うよう強く勧められる

引用など:

馬場駿吉, 高坂知節, 稲村直樹, ほか. 小青竜湯の通年性鼻アレルギーに対する効果—二重盲検比較試験—. *耳鼻咽喉科臨床* 1995; 88: 389-405.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『結果・考察: TJ-19 群の中等度以上の全般改善度は, 92 例中 41 例(44.6%)であり, プラセボ群の 94 例中 17 例(18.1%)と比較し有意に優れていた。(U 検定: $p<0.001$)

TJ-19 群の有用度(有用以上)は 93 例中 43 例(46.2%)であり, プラセボ群の 96 例中 22 例(22.9%)に比べて, 有意に優れていた。(U 検定: $p<0.001$)』

副作用に関する記載ないしその要約:

『投与薬剤との因果関係が疑われた副作用症例の発現率は TJ-19 群で 107 例中 7 例(6.5%)であり, プラセボ群で 110 例中 7 例(6.4%)であり, 両群間に有意差はなかった。TJ-19 群の主な副作用は消化器症状, 頭痛などで, 重篤なものは認められなかった。』

■5 麻黄附子細辛湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

中井義明, 大橋淑宏, 江崎裕介, ほか. 鼻アレルギーに対する麻黄附子細辛湯の臨床効果の検討. *耳鼻咽喉科展望* 1990; 33(補 5): 655-73.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

■6 柴苓湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

橋口一弘, 小川浩司, 増田はつみ, ほか. 柴苓湯による鼻アレルギーの治療. *耳鼻咽喉科展望* 1990; 33(補 1): 61-6.

■7 麻黄附子細辛湯

疾患:

通年性鼻アレルギー

引用など:

伊藤博隆, 馬場駿吉, 高木一平, ほか. 鼻アレルギーに対する麻黄附子細辛湯の薬効評価 鼻閉症状の臨床効果について. *耳鼻咽喉科臨床* 1991; 補 52: 107-18.

■8 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

荻野敏, 原田保, 入船盛弘, ほか. 通年性鼻過敏症に対する小青竜湯の臨床効果 証との関係. *耳鼻咽喉科展望* 1991; 34(補 1): 1-7.

■9 柴苓湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

橋口一弘, 小川浩司, 神崎仁. 柴苓湯による鼻アレルギーの治療 特に鼻閉に対する効果について. *Progress in Medicine* 1991; 11(5): 1444-8.

■10 麻黄附子細辛湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

真弓広子, 鵜飼幸太郎, 坂倉康夫. 麻黄附子細辛湯エキスカプセルの通年性鼻アレルギーに対する臨床成績. *アレルギーの臨床* 1991; 11(1): 46-9.

■11 麻黄附子細辛湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

大橋淑宏, 中井義明, 古谷博之, ほか. 鼻アレルギーに対する麻黄附子細辛湯の効果. *耳鼻咽喉科臨床* 1992; 85(11): 1845-53.

■12 柴苓湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

橋口一弘, 小川浩司. ステロイドと漢方 柴苓湯による鼻アレルギーの治療. *現代医療学* 1993; 8(2): 219-24.

■13 漢方薬

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

馬場廣太郎. 鼻アレルギーの漢方治療. *アレルギーの臨床* 1993; 13(14): 945-8.

■14 漢方薬

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

澤木修二. アレルギー性鼻炎の漢方治療. *現代東洋医学* 1994; 15(3): 354-7.

■15 辛夷清肺湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

小川浩司, 橋口一弘. 鼻アレルギーとその周辺疾患に対する辛夷清肺湯の治療効果. *Progress in Medicine* 1995; 15(12): 2617-8.

■16 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

中村信一, 松本勲, 堀孝郎, ほか. アレルギー性鼻炎患者の鼻閉に対する小青竜湯の影響 Acoustic rhinometry を用いた評価法. *和漢医薬学雑誌* 1996; 12(4): 474-5.

■17 漢方薬

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

荻野敏. アレルギー性鼻炎における漢方の位置づけ. *Progress in Medicine* 1995; 15(12): 2643-51.

■18 補中益気湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

荻野敏. アレルギー性鼻炎に対する補中益気湯の使用経験. *Progress in Medicine* 1995; 15(8): 1472-5.

■19 漢方薬

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

大山勝. 鼻アレルギーの漢方療法. *アレルギーの臨床* 1995; 15(13): 918-22.

■20 苓甘姜味辛夏仁湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

佐藤むつみ, 緒方哲郎, 山崎充代. 通年性アレルギー性鼻炎に対する苓甘姜味辛夏仁湯の使用経験. *Progress in Medicine* 1995; 15(12): 2622-5.

■21 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

前田稔彦, 柏木令子, 松永喬. 鼻アレルギーに対する小青竜湯の臨床効果. *Progress in Medicine* 1995; 15(8): 1476-8.

■22 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

山際幹和, 徳力俊治. 小青竜湯(TJ-19)の鼻アレルギー患者の鼻閉塞に対する効果. *診断と治療* 1996; 84(3): 533-44.

■23 小青竜湯、柴朴湯、小柴胡湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

大山勝: アレルギーと漢方薬 基礎と臨床 アレルギー性鼻炎-基礎 病態生理と作用点. *アレルギーの臨床* 1997; 17(5): 362-5.

■24 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

大山勝. 漢方薬と西洋薬の併用 アレルギー性鼻炎における併用, 配合の留意点. *漢方調剤研究* 1997; 5(2): 15-7.

■25 小青竜湯、麻黄附子細辛湯、苓甘姜味辛夏仁湯、葛根湯加川芎辛夷、麻杏甘石湯、越婢加朮湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

馬場駿吉. アレルギー性鼻炎 臨床 漢方の使い方と薬効評価. *アレルギーの臨床* 1997; 17(5): 358-61.

■26 苓甘姜味辛夏仁湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

前田稔彦, 松永喬. 鼻アレルギーに対する苓甘姜味辛夏仁湯の臨床効果. *耳鼻咽喉科臨床* 1997; 補 92: 43-6.

■27 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

山際幹和. 小青竜湯(TJ-19)の鼻アレルギー患者の鼻閉塞に対する効果. *耳鼻咽喉科臨床* 1997; 補 92: 38-42.

■28 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

清水正彦, 清水和彦, 宮川礎, ほか. アレルギー性鼻炎に対する小青竜湯の有効例と無効例に関する臨床的検討(retrospective study). *耳鼻咽喉科臨床* 1998; 補 98: 39-43.

■29 小青竜湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

松野栄雄, 松井健一郎, 山口宣夫. 鼻アレルギー誘発時の末梢血 CD 陽性細胞レベルでみた小青竜湯の作用機作. *漢方と最新治療* 1999; 7(4): 345-51.

■30 麻黄剤

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

山際幹和. アレルギー性鼻閉塞に対する麻黄剤の即時的効果 方剤と効果発現様式の比較. *漢方診療* 1999; 18(3): 73-6.

■31 小青竜湯、柴朴湯、小柴胡湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

日本東洋医学会学術教育委員会(編): 入門漢方医学. pp. 30-67, 南江堂, 東京, 2002.

■32 小青竜湯、麻黄湯、苓甘姜味辛夏仁湯、麻黄附子細辛湯、荊芥連翹湯

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

荻野敏. 漢方薬はどんな患者に有効か?. *治療* 2006; 88: 295-9.

■33 漢方薬

疾患:

通年性アレルギー性鼻炎

引用など:

稲葉博司: アレルギー性鼻炎・花粉症. 市村恵一編集: 耳鼻咽喉科漢方薬処方ガイド. pp.64-77, 中山書店, 東京, 2015.

<以上 4~33 の記載として>

備考:

鼻アレルギー診療ガイドライン:通年性鼻炎と花粉症 2024 年版(改訂第 10 版)エビデンス集
10) 治療法の選択(通年性アレルギー性鼻炎)の記載であり、本体の推奨・エビデンスの表記とは別の記載となっている。